



この秋、首都圏一円で
農作業体験を受け入れる
団体一覧

休日は農作業を楽しもう!

平勤休農のすすめ

経済成長に支えられていた贅沢で便利な暮らしが見直されるなか、

生活のあるべき姿を農に求める
「農力向上」が注目を集めています。

このキャンペーンでは、
「平勤休農」というライフスタイルを奨めることで、
都市生活者と近郊の農家との
「新しい地縁づくり」を提案します。

検索

詳細は各団体名で検索するが、
農力向上委員会の
キャンペーン公式ウェブページ
「平勤休農」からリンクを
たどってください。
なおフェイスブックの
「平勤休農」グループでも、
どんどん情報を
提供する予定です。

東京都 | MERRY FARMING (港区)：六本木の事務所ビルでアートな屋上農園を展開。
三鷹オーガニック農園 (三鷹市)：全国でも稀有な有機法 / 自然農の体験農園。
東京て畑おこし T's Farm (町田市)：開墾した耕作放棄地で有料の農業体験を受入中。
都都会と田舎をコネクト greensmile (檜原村)：休耕地を軸に地域再生イベントを開催。

神奈川県 | 特定非営利活動法人ビーグッドカフェ (小田原市)：オレンジプロジェクト展開中。
特定非営利活動法人 よこはま里山研究所 NORA：耕作放棄地援農募集中。
特定非営利活動法人 農に学ぶ環境教育ネットワーク (横浜市)：自然農の援農募集中。
NPO 法人「畑と田んぼ環境」再生会 (横浜市)：自然農での耕作放棄地再生活動中。
なないろ畑農場 (大和市)：有機栽培による CSA 農場で援農ボランティアを募集中。
アグロスつちの里 (横浜市)：寺家ふるさと村の休耕地再生でボランティア募集中。

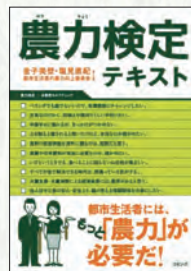
埼玉県 | 株式会社 新しい村 (宮代町)：第3セクター管理の農業公園で有料イベント開催。
里山ぐるぐるスマイル農園 (小川町)：FoE Japan の森林担当が有料体験募集中。
種まき大作戦 (小川町)：麦から育てる「地ビールチャレンジ」を有料で展開中。
小川町小瀬田プロジェクト：谷戸田を軸としたローカリゼーション活動実践中。
つるがしま有機の会 (鶴ヶ島市)：少額出資の大豆レボリューションなど展開中。

千葉県 | SOSA Project (匝瑳市)：里山に囲まれた再生農地でmy田畑オーナーを募集中。
一般社団法人房総農芸塾：里山再生の地域活性化プロジェクトで参画者募集中。
土の学校 (山武市)：有機農家と支援者が会費制稲作体験をシーズンで展開中。

静岡県 | 木の花ファミリー (静岡県富士宮市)：エコビレッジで農作業ヘルパー募集中。

山梨県 | しごと塾さいはら (上野原市)：手しごとを学び、そば、大豆づくりを実践。
NPO 法人都留環境フォーラム：移住支援・半農半X 提案のイベントを開催。

茨城県 | NPO 古瀬の自然と文化を守る会：田んぼアートや農コンの参加者を募集中。



都市生活者には、もつと「農力」が必要だ!

本書は、1からわかる、農薬や化学肥料に依存しない野菜作りの指南書。扱う内容は、キッチン・ベランダ菜園や半農半Xの実践法、有機栽培など。現代人が「農」に触れるためのノウハウを段階的に紹介している。最終段階は、農村におけるコミュニティ対応能力や食料輸入が途絶えたときのサバイバル対応能力について。「農力向上」をめざし、「本当の豊かさとは何か、幸せとは何か」をみつめなおそう。

著者：金子美登、塩見直紀 ほか 監修：一般社団法人 都市生活者の農力向上委員会
出版社：コモンズ 発行：2012年7月5日 体裁：B5判112ページ 定価：1700円+税

主催：一般社団法人 都市生活者の農力向上委員会

ウェブページ http://reculti.org/?page_id=750 FBグループ <http://www.facebook.com/groups/kyunou/>
検索キーワード「平勤休農」 問い合わせ support@reculti.org

協力：霜里農場 (埼玉県小川町) / 種まき大作戦実行委員会 / Ricepaper 88

supported by



農園紹介



神奈川県横浜市青葉区から東京都町田市三輪町にまたがる里山で活動する、『NPO法人農に学ぶ環境教育ネットワーク』。閑静な住宅街に隣接する谷戸一帯にその活動拠点がある。田んぼ、畑、雑木林という景観のなか、平成7年に開墾を有志で始めてから、この地で「自然農」にこだわっ

自然農が学べる

NPO法人 農に学ぶ環境教育ネットワーク

横浜市青葉区／東京都町田市

て生産活動をしてきた。理事長の木村広夫さんは、「作物は人が作るのではなく、自然が作るもの。それを感じてもらいたい」と話す。長年想いをかけて自然農に関わってきただけに、「伝えたい気持ちは深い。『農に学ぶ』の活動に参加するのにあたり、お奨めは、会費がかからない援農ボランティアというシステムだ。登録して前日までに申し込めば、農作業が予定されている日なら平日でも作業できる。現場はのどかな田園風景で知られる「寺家ふるさと村」の周辺で、東急青葉台駅からのバス路線があるほか、本格的な農作業に欠かせない駐車スペースも不足はない。管理施設の「四季の家」には、綺麗なトイレや洗い場はもちろんのこと、研修室や農産加工室も格安で提供されているのに加えて、



理事長 木村広夫さん



レストランも併設されている。休日のひととき、首都圏では限りなく少なくなった谷戸という貴重な場所、自然の流れに身を置き、作物だけでなく、さまざまな生き物と対話する時間は、現代人が忘れかけた大切な何かを気付かせてくれる。

お問い合わせ先

特定非営利活動法人 農に学ぶ環境教育ネットワーク → 『農に学ぶ』で検索！

〒227-0031 神奈川県横浜市青葉区寺家311番地

<http://nounimanabu.net/index.html> (申し込み・問い合わせフォームあり)

『なないろ畑農場』

神奈川県大和市

新たな農場経営のカタチ



中央林間駅から徒歩7分の住宅街に出荷場を持ち、火/木/土の9時集合でボランティアを受け入れている『なないろ畑農場』。安全な野菜欲しさに有機農業を始めた農場主(狸)がCSAを旗印に農業生産法人として規模拡大を果たし、今では数多くの研修生を輩出している。援農希望者は、まずホームページで農場の趣旨を確認して欲しい。

→ 『なないろ畑』で検索！

都会と田舎をコネクト『greensmile』

東京都檜原村

地域活性化に若いチカラを



千葉のくりもとファームで有機農業の研修を積んだ若き庭師が、「都会と田舎を結び、地域活性のスキームを作る」という志を抱いて檜原村に移り住んだ。その実践として『greensmile』を立ち上げ、若者に参加を呼びかけているのが、休耕地の再生を目指す「平米ファーム」。地域資源を発掘する交流ワークショップや秋川渓谷でのバーベキューなども企画され、参加者同士が仲間になって一緒に楽しめる。

→ 『greensmile 檜原』で検索！

『しごと塾さいはら』

山梨県上野原市

田舎暮らしに触れられる



単発の援農でなく「まちからむらへ通い続けるきかけ・しかけ作り」を。そんな想いで上野原市西原地区を拠点に活動しているのが、『しごと塾さいはら』だ。地元農家の教えをもとに、蕎麦や大豆などの種まきから加工まで、さまざまな作業工程にふれられる参加型イベントに、毎回多くの若老男女が集まる。新宿から1時間余りで通える山間の里は、なにより故郷の温かみを感じられる。

→ 『しごと塾さいはら』で検索！



のんびりとくつろげる農園パーク

株式会社 新しい村

埼玉県宮代町

北千住から東武線で1時間弱、東武動物公園に隣接する『新しい村』は、近場で「農」を楽しむ入園無料のアミューズメントパークとして人気だ。敷地内には田んぼ、畑、果樹園やハーブ園があるほか、農産物の直売所やカフェ、また各種講座を開ける研修施設も新設されて、個人だけでなく団体の農作業体験も盛んに受け入れている。

「農あるまちづくり」というユニークな方針を掲げる宮代町。その宮代町から管理を代行している「株式会社新しい村」では、農作業を体験できる「ほっつけ農友塾」や市民農園の「集落農園(結の里)」など、年間を通してプログラムのほか、気軽に参加できる祭りやイベントを毎週のように開催している。10月には、初心者が農に触れるのに最適な「ハーブ&スパイス講座」や「ハロウィンパーティー」が企画されている。また定期的開催される「畑で婚カツ」も、農や自然に関心がある人が集まり、実際に農作業をしながら親睦を深めるという内容で好評とのこと。



アグリ生産課 加藤大樹さん



「見どころはたくさんあるので、気軽に遊びに来てほしい」と語るのは、『新しい村』職員の加藤大樹さん。直売所で売られる近隣でとれた新鮮な農産物目当てで訪れる方も多く、

またトイレや洗い場などの施設もしっかりしているの、子連れや恋人同士も遊びに来やすい。なによりこの魅力は空が広いこと。のんびりと時間を過ごすだけで、気分が安らぐだろう。平日にたった1スタンスをほぐすには最適な場所だ。

お問い合わせ先

株式会社 新しい村 → 『新しい村』で検索！

〒345-0824 埼玉県南埼玉郡宮代町字山崎777-1 電話.0480-36-3441 (代表)

<http://www.atarasiimura.com/> (問い合わせフォームあり)